

日本共産党はこんな政党です

ブレずに野党共闘

4月に行われた北海道、長野、広島の国政選挙の全てで、共産党も支援した野党統一候補が勝利しました。

コロナ対策に無為無策、金権・腐敗政治の自公政権を終わらせるために、市民と野党の共闘の力が必要です。新しい未来をひらくために、共産党はブレずに野党共闘をつらぬき、奮闘しています。

未来社会をめざす

コロナパンデミックを契機に、もうけ第一の資本主義のもと、格差拡大、地球環境破壊が大問題になっています。

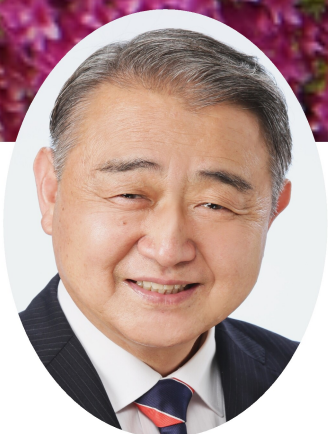
日本共産党はもうけ第一の資本主義社会を乗り越えて、人間第一、一人ひとりが大切にされ、助け合う「国民が主人公」の社会をめざします

中国は社会主義ではない

中国は南シナ海、東シナ海などで、力づくで現状を変えていこうという覇権主義と香港、ウイグルなどでの人権抑圧をおこなっています。こうした行動は「社会主義」とは無縁です。「共産党」の名に値しません。

中国は最近「海警法」をつくりました。自分で「管轄海域」と決めたとこでは、武器の使用までできるとしています。国際法違反の法律ですから撤回すべきです。

予約電話が
つながらない!



町議会議員
内田たもつ

いつになったら、順番まわってくるの?
5月から、75歳以上の
高齢者にワクチン接種が始まるというのに!

ワクチン接種体制の 思い切った拡充を

役場から75才以上の方へ「新型コロナウイルスワクチン接種券」が郵送され、予約受付が始まりました。ところが、何回かけてもつながらず、結局、予約できず不安と不満の声が高まっています。内田たもつ議員は、まん延防止と住民の命とくらし・営業を守るために、4月5日町に緊急の要請をしました。

予約受付の電話回線を 増やし、5才毎の体制に

75才以上の方の予約は、75才以上一括の受付だったため、対象者が多くてなかなか電話が繋がりませんでした。内田たもつ議員は、次のように提案しています。

- ★コールセンターの電話回線を現在の3回線から10回線以上に増やす。



- ★今後は、70才以上、65才以上など5才毎にし、1回の受付対象を少なくして、町民が平等公平に受けられるように体制を整える。

誰もが接種会場に行ける体制を

車で体育館に行けない高齢者や介護認定を受けている方、障がい者など誰でも、ワクチン接種を受けることができるように、次のことを要望しました。

- ★産業まつりで実施している町内各大字から臨時送迎バスを出す。
- ★知多厚生病院など他市町にかかりつけ医のある住民は、そのかかりつけ医でも接種ができるようにする。
- ★常滑市などのように高齢者にタクシー券を配布する。

海っ子バスの停留所 体育館前に移設実現

当面町は、内田たもつ議員の要請に応じて、海っ子バスの停留所が5月15日から、町総合体育館前に移設されました。



これまでのバス停



15日から体育館前に